

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 6 月 1 日

事業名称		文化施設管理費 [文化施設管理事業]						
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	事業番号 9	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	社会教育		課 郷土博物館		係	課長名	高田匡章	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	1 - 4		
【施策名】 市民文化の振興					総合計画書(ページ)	41		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市民 →			人口				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
当市にゆかりの日本画家・吉岡堅二の作品に触れ、芸術文化の素養を高める。			旧吉岡家住宅公開時の来場者数 →					
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
旧吉岡家住宅の公開を行い、吉岡堅二作品の展示と文化財ガイドを行った。 吉岡堅二関連グッズを作成し、頒布に努めた。 建物の修繕及び日常的な管理を行った。 吉岡堅二現物調査を行った。			旧吉岡家住宅の公開(春の公開は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、秋のみ開催。産業振興課主催のスイーツウォーキングに伴う公開も中止) → ポストカード、図録、一筆箋の実費頒布(随時、郷土博物館窓口等)。日常的な管理と物置小屋屋根修繕を行った。 現物調査：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、回数・調査員を限定して49回行った。					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,968	85,337	85,266		
	成果指標	②の数値	人	1,269	845	530		
	目 標	②の目標値	人	1260.0	1,152	1,200	1,100	
		目標値設定の考え方 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら2回開催予定。550人×2回						
	活動指標	③の数値	日	7	8	3		
3 経費	事業費(実績)		円	3,058,261	4,643,789	1,624,840	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 再任用職員の人件費(週4日勤務) 年間単価 3,035,000円 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。) 特定財源は郷土博物館観覧料と電子複写機使用料	
	財源	一般財源	円	3,002,461	4,615,889	1,624,840		
		特定財源(国・都・他)	円	55,800	27,900	0		
		(うち受益者負担)	円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5		
		所要人数(再任用)	人					
		職員人件費(再任用以外)	円	4,126,500	4,155,000	4,190,000		
	職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費		円	7,184,761	8,798,789	5,814,840			
4 環境変化等	(1) 開始年度	5 年度						
	(2) 環境の変化	平成5年度から、当市にゆかりの日本画家・吉岡堅二の芸術作品を身近に感じ、芸術文化の素養を高めることを目的に行っている。平成29年5月には、建物が登録有形文化財に登録された。 BS朝日「百年名家」の取材を受け、2年2月16日に放映(再放送は3月22日)され、反響があった。施設の一部に経年劣化による損傷が見られ、修理が必要である。						

事業名称	文化施設管理費 [文化施設管理事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 地域に偉大な日本画家が住んでいたことを誇りに思う。今後も大切な文化財として保存してほしい。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：③事業協力(開演前の準備、広報活動、文化財ガイド等) 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )		
7 課題	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 施設整備についての方向性の策定			
	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 旧吉岡家住宅についての基本方針を策定すること。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながらの公開のみ行った。			
8	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 国登録有形文化財としての保存・管理・活用			
	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 市民文化の振興 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名( )			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 春・秋の公開は、多くの来園者に来てもらえるように、内容の工夫を図りつつ、文化財ボランティアの協力をいただきながら、継続して実施する。 また、市のイベント行事などと連携を図るなど、来園者増に繋がる事業を検討していく。 建物に残る資料調査については、職員と美術作品調査員の協力をいただきながら、進めていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 公開については、文化財ボランティアの協力体制を継続しながら、公開、展示内容の充実を図る。 建物の資料調査は、引続き、武蔵野美術大学とともに実施する。			